

平成 30 年度三朝大学
第 7 回「お出かけ講座 2」岡山大学惑星物質研究所見学
開催レポート

平成 30 年 11 月 19 日（水）三朝大学第 7 回「お出かけ講座 2」として、三朝町山田にある世界的な研究施設「岡山大学惑星物質研究所」を訪問しました。

○岡山大学惑星物質研究所ってどんなところ？

三朝町内にありながら海外からも多くの研究者が訪れる岡山大学惑星物質研究所。数年前には惑星探査機「はやぶさ」が持ち帰った惑星「イトカワ」の粒子の研究拠点となったことで話題となりました。

そこでまずは、岡山大学惑星物質研究所の神崎正美教授に、同研究所でどのような研究が行われているのかご講義をいただきました。

研究所の主な研究のうちの 1 つは、前述のイトカワの粒子の分析をはじめとした岩石等の分析化学、そしてもう一つが、高圧実験装置を利用した地球内部構造の再現実験です。

例えば、同じ炭素をもとにしたものでも、低圧力の状態ではグラファイト（鉛筆の芯など）であるのが、高い圧力がかかるとダイヤモンドに変化します。

このように元は同じ物質でも圧力や温度によって違うものに変化する性質を利用し、地球内部のような高圧力環境で物質がどのような状態となるかを研究することで、地球の内側の研究をされているとのことでした。

講義の内容は普段は聞きなれない言葉を多く、少し難しいかなといった印象でしたが、受講生は関心をもってしっかりと聞いている様子でした。



○高圧実験装置&鉍石見学

1時間ほどの講義を終えると、次は講義の中で登場した高圧実験装置や、隕石やダイヤモンドといった鉍石を実際に見せてもらいました。

日常生活では、まず見る事のできない実験装置や、貴重な鉍石に受講生は興味津々の様子でした。



○外国人留学生と研究員による母国紹介

惑星物質研究所は、外国人留学生や研究員の方が勤務されており、とても国際色豊か。

今回は世界を学ぶということで、中国からの留学生ヨウユエさんとスペイン人研究員イヴァンさんにそれぞれの母国を紹介してもらいました。

まずは、ヨウユエさんによる中国の紹介。

広大な面積を誇る中国では、地方によって気候や環境がまったく異なるため、それぞれの地方でその地方特有の文化を形成しています。

そこで、各地方の特色を紹介していただきました。



続いては、イヴァンさんによるスペインの紹介。

スペインは、その歴史上、ギリシャやローマ、アフリカなど様々な文化が融合した独自の文化を形成しています。

イヴァンさんは、スペインで有名なスポーツや、食事、建築などを紹介していただきました。

また、日本との文化の違いで自身が日本で驚いたことなどを楽しく紹介していただきました。



○次回は音楽講座

今年の三朝大学最後となる第8回講座は毎年恒例の音楽講座。
生原清明先生にご指導いただき、童謡・唱歌を学びます。